

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)井手多賀パーク新築工事	階数	地上1F
建設地	京都府綴喜郡井手町大字多賀小学	構造	S造
用途地域	市街化調整区域内 防火区域なし	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2024年5月21日
敷地面積	5,920 m ²	作成者	㈱日匠設計 森田 恭介
建築面積	2,347 m ²	確認日	2024年●月●日
延床面積	2,334 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シーートの複製を印刷してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 41%
③上記+②以外の 41%
④上記+ 41%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境 (敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.8

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合 交通量の多い道路に面するため、遮音対策に配慮し、快適性に重視した設計とした。</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 外部に接する壁、屋根は断熱材を設置し、断熱性能の向上に努めた。 施設内禁煙とし、空気室環境に配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> 売場の天井高を3.6mとし、利用者の快適性を高めた。 維持管理に配慮した設計とした。 耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図る。 	建物の形状について周辺環境に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ性の高い機器を選定した。	節水機器を採用し水資源の保護に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の少ない燃焼器具を採用した。 施設利用者の利便性を高めるため、大店立地法に基づき敷地内計画をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される